

しゅうなん

# 議会だより

平成29年

5・15

No.58

## 一般会計予算過去最大 708億3,900万円

### シティプロモーション事業費 に修正案提出

### 修正案を否決

#### TOPICS

- ・定例会の概要 (P2~5)
- ・議案等の議決結果 (P6)
- ・会派質問 (P7~12)
- ・委員会懇談会 (P13)
- ・委員会レポート (P14~15)
- ・全員協議会の概要 (P15)



# 概要

第1回定例会を2月22日から3月15日までの22日間開催しました。今定例会では、平成28年度補正予算、平成29年度一般会計予算や特別会計予算、条例の一部を改正する条例制定などの市長提出議案72件を審議しました。

可決  
(賛成多数)

## 平成29年度一般会計予算 (シティプロモーション事業)

平成29年度の一般会計予算は708億3900万円で、庁舎建設事業や徳山駅周辺整備事業の進捗などにより、過去最大の予算規模になりました。

委員会審査の中で、愛称を「しゅうニャン市」として本市の魅力を発信しようとするシティプロモーション事業に対し、多くの質疑がされ、委員から事業費を削除する修正案が提出されました。

### 予算決算委員会での審査

問 シティプロモーション業務委託料の内訳と委託先は。

答 業務委託料2321万6000円のうち、2300万円は今年度に引き続き、株式会社プロモーションズライトへの委託を考えている。内訳は、イベント開催費用、新聞やSNS広告・動画制作、ラジオCM、PRグッズ製作などである。また、携帯電話を活用したインターネット調査のための知名度調査料も計上してある。

問 しゅうニャン市という名前ばかりが前に出てしまい、中身が置き去りになっているのでは。

答 愛称を付けても、最後に問われるのは歴史や文化などの中身であるが、まずは周南市

を知ってもらわなければ、そこにたどり着かない。そのため一つの戦略として、親しみやすい愛称をつけた。中身の充実も必要だが、これは、本市の知名度を上げることには特化した事業である。

問 しゅうニャン市宣言を行う際、市民への意識調査を行ったのか。

答 調査は行っていない。昨年行ったエープリルフル企画の反響から、しゅうニャン市の愛称が認知度向上に寄与したという確証を得た。

問 「共に。」という政策を掲げているにもかかわらず、この事業は一部の市民にしか認知されていない。これでシビックプライドが醸成されるのか。

答 この事業は、市外での本市の認知度を高めること、市内の方や本市出身者を巻き込むことが目的である。今回パートナー制度として、50以上の企業がプロジェクトに賛同しており、こうしたことが参加意識につながっていく。また、子どもや女性、若者にもまちづくりに関わってほしいと考え、そういった方々をターゲットとしてプロジェクトを進めている。

### 予算決算委員会での審査結果 賛成多数で可決

#### 【修正案を提出】

予算決算委員会でシティプロモーション事業費2,530万1,000円を全額削除し、予備費に組み替えることを提案。

#### 【理由】

- ・総合戦略として取り組むシティプロモーションは否定しないが、総事業費が示されておらず、これから先の事業の取り組みが非常に不明確。
- ・まちづくりのためには、歴史的・伝統的な裏付けが必要。しゅうニャン市という表現からは、それが全く感じられない。
- ・本気でまちづくりに取り組むのであれば、随意契約ではなく、プロポーザル方式などによる契約にすべきである。

#### 【結果】

修正案は賛成少数により否決し、原案を賛成多数で可決



# の 会 例 定

本会議でも、予算決算委員会と同様の内容で、議員9名を提出者とする修正案が出されました。

議員はそれぞれの立場を表明して討論を行いました。

## 本会議での討論

### 修正案に賛成、修正部分を除く原案に賛成

・本事業の財源とふるさと周南応援寄附金を連動させていることに対し一定の理解はするが、積算根拠に乏しく、確かな裏付けがない。

・しゅうニヤン市の愛称で本当に知名度アップにつながるのか、また約2500万円もの予算をかける価値があるのか疑問である。インターネット上で注目されているとのことだが、市民の合意を図ってから提案すべき。  
・行政主導で事業が進んでおり、議会と執行部のあり方に疑問があるため、仕切り直しをすべきと考える。原案の共創プロジェクトについては、継続性を担保した上でしっかり進めてほしい。  
・しゅうニヤン市の認知度が上

がることは、むしろ本市のイメージダウンにつながるのでは。仮に本市の認知度が上がったとしても、市民の便益が図られるとは思えない。

### 修正案に反対、原案に賛成

・市外で注目を集め、本市の知名度を上げていることは確かであり、強制的に事業を終了させると、対外的なイメージダウンにつながる。

・本事業がことさら取り上げられているのは、議会・市民に対する説明不足によるもので、市政を共に進めるためには、丁寧に事前説明を行うべきであった。しかし、この事業以外にも重要な施策が並ぶため、執行部には猛省をお願いした上で賛成する。  
・愛称しゅうニヤン市からは認知度向上の強いコンセプトが感じられた。本事業の本来の目的である交流人口の増加等への効果の検証も十分行ってもらいたい。また、子育て支援事業や小学校改修事業にも期待する。  
・しゅうニヤン市プロジェクトは既にスタートしており、修正するとこれまでに費やしたものが無駄になる。

可決  
(賛成多数)

## 徳山動物園条例の一部を改正する 条例制定

徳山動物園の入園料を本年10月1日から改正するものです。

### 環境建設委員会での審査

問 入園料を値上げる理由は。

答 受益者負担を基本に、人件費を除いた経常経費を入園料を含めた歳入で賄いたい。

問 リニューアルが完了した時点であればまだしも、なぜ10月1日から値上げなのか。

答 昨年、るんちやるんちやがオープンし、今年の秋には、自然野鳥観察所がオープンするなど、ある程度リニューアルが進んだため、値上げすることとした。

問 入園料金が、大人600円、子ども300円、年間パスポート1500円となるが、全国的に見てこの金額は妥当か。

答 大人料金は全国53園中18位。年間パスポートは全国42園中24位。入園料金の全国平均は大人515円、子ども212円である。

問 市外入園者の大人料金を、市内入園者よりも割高にする考えはなかったのか。

答 市内・市外入園者の大人料金の区分けは行わないが、市民感謝

デーの開催など市民に還元できるサービスを検討する。

問 高齢者の入園料減免は、検討しなかったのか。

答 今回は具体的なものは示していないが、敬老の日に招待するなどのサービスを考えている。

問 リニューアル工事が完了すれば、再度料金改定を行うのか。

答 市の財政状況に応じて、検討する。

### 環境建設委員会の審査結果 賛成多数で可決

### 本会議での討論

#### 反対討論

・社会教育施設であり、入園者の負担増は認められない。  
・リニューアル完了後の値上げは検討する必要があるが、子ども料金は据え置くべき。

#### 賛成討論

・他の動物園と比較しても低料金で、リニューアル事業の確実な遂行のため、改定は必要。  
・基準が明確かつ妥当で、リニューアルが一定の段階に達した時点での値上げは適切な判断。

可決  
(賛成多数)

- 新** 新規事業
- 拡** 拡充事業
- 重** 特に重点的に実施する事業等
- 〔総〕** 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業

# 計予算

## 拡 子育て世代包括支援センター事業〔総〕



専門職による相談

**事業費** 17,138千円  
**事業の概要** 妊娠・出産・子育てに関する相談窓口「子育て世代包括支援センター」で、全ての妊産婦、乳幼児、児童とその家庭への支援体制と地域全体で子育てを支える環境を整備する。

**問** 産前・産後ホームヘルパーは、どのような流れで派遣されるのか。また、利用料金は。  
**答** 保健師や助産師が家庭訪問をし、心身の不調や、家事・育児に協力できる家族がいらない実態を把握した場合に、ホームヘルパー派遣事業を紹介する。利用料金は、1回2時間未満500円で、市民税非課税世帯および生活保護世帯は無料での実施を考えている。

## 拡 中山間地域戦略プロジェクト事業〔総〕



いっておかえり鹿野市

**事業費** 4,100千円  
**事業の概要** 鹿野地区へ集落支援員を配置し、夢プランづくりやその実現に向けた地域の主体的な取り組みを支援する。

**問** 鹿野地域へ配置する集落支援員の内容は。また、今後、他の地域も事業の対象となるのか。  
**答** 集落支援員は国の制度で、夢プラン策定推進のほか、移住交流促進のための空き家確保などの活動を想定し、人数は、地域の状況に合わせて、3人から5人程度を考えている。  
 他の地域でも要望があれば検討するが、現時点では、市内全てのコミュニティ組織への交付金の交付は考えていない。

## 新 女性雇用マッチング事業〔総〕



女性職員研修

**事業費** 5,000千円  
**事業の概要** 子育てや転居などの事情により就業していない女性に向けたセミナー・交流会・企業訪問等を実施し就労の支援を図る。

**問** 事業の具体的な内容は。  
**答** キャリア中断女性を対象としたセミナーを、既に6回程度開催しており、今後、未就業女性を対象としたセミナーを8回程度開催する予定である。また、企業と未就業女性による交流会等の実施を考えている。対象者については、職種を限定することなく、幅広く募集をかけ、労働力の掘り起こしにつなげていきたい。

## 拡 犬適正飼育啓発事業



犬の飼い方教室

**事業費** 1,000千円  
**事業の概要** 犬の飼い方教室や飼い方講座、ワンワン銀行で指導相談等、飼い犬の飼い方マナーの向上を図るとともに、犬猫に対する不妊去勢手術の助成を新たに実施する。

**問** 犬および猫の不妊去勢手術に対する飼い主への補助金は、個人の嗜好への助成と考えるが、理解が得られるのか。  
**答** 現在、特に野犬については、市民生活に影響を及ぼす状況になっている。少しでも動物遺棄の要因を除去とともに、動物への愛護精神や適正飼育の意識高揚のため、この事業に取り組みたい。

# 平成29年度 一般会

予算決算委員会では、3月6日から8日の3日間、新年度予算の審査を行いました。一般会計の主な事業の審査内容は、下記の通りです。

## 新 幼児教育推進事業



わかやま保育園

**事業費** 2,165千円  
**事業の概要** 公私立保育所・幼稚園・認定こども園の枠を超えて、周南市全体で幼児教育の質の向上に向け、実践化を進めるための体制を整備する。

**問** 幼児教育アドバイザーの設置を目指す、幼児教育の質向上の内容は。  
**答** 公立および私立の保育所・幼稚園・認定こども園、各施設の特徴ある教育、保育は尊重しなければならぬが、就学前までに育ってほしい姿の共通理解が必要である。そのため、教育内容や指導方法の改善についての指導、助言を行い、幼児教育に携わる職員の質を向上させる。

## 拡 新規就農者定着支援事業〔総〕



補助により設置したビニールハウス

**事業費** 115,726千円  
**事業の概要** 青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、農業研修期間および就農直後の者に対する支援を実施する。

**問** 農家民宿開業資金事業補助金は、新規就農者を対象に交付されるのか。  
**答** 民宿およびレストランの開業を、就農計画に記載した新規就農者の中から、安定した生産が可能かどうか、市の審査を通過した者に、開業のための補助金を交付する。  
 今回は、須金の方による農家民宿の開業に対する支援を行う予定である。

## 重 鶴保護対策事業



八代のナベツル

**事業費** 21,872千円  
**事業の概要** 八代地区へのナベツルの渡来数回復事業を行う。

**問** 新年度の目標に渡来数の増とあるが、具体的な方策は。  
**答** 移送放鳥事業で、現在まで15羽の放鳥をしたが、八代に帰ってきたツルはいない。これまで1回の放鳥で、最も多いのは4羽だったが、新年度は新たな試みとして、1度に10羽程度の多数放鳥を実施したいと考えている。

## 重 小中学校改修事業



改修工事予定の榎浜小学校

**事業費** 160,753千円  
**事業の概要** 安心して快適に学べる教育環境確保のため、大規模改修や非構造部耐震改修を実施する。

**問** 久米小学校増築の場所および建物の規模は。  
**答** 場所は元の小学校の講堂で、鉄骨造りの2階建て1棟8教室を整備する予定である。  
**問** つり天井の改修が、新年度に4校予定されているが、対象校はこれで全てか。  
**答** この4校をもって、現在運営中の小中学校の非構造部の改修事業が完了する。29年度に設計を行い、30年度に工事を行いたい。

# 議案等の議決結果

## || 賛成多数で可決 ||

### 平成29年度予算

- ・一般会計予算⇒708億3,900万円
- ・後期高齢者医療特別会計予算⇒23億4,759万9,000円
- ・国民健康保険特別会計予算⇒195億956万3,000円
- ・介護保険特別会計予算⇒130億6,558万円

### 条例改正など

- ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正、市長等の給与に関する条例の一部改正、市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正、徳山動物園条例の一部改正

## || 全会一致で可決 ||

### 平成29年度予算

- ・国民健康保険鹿野診療所特別会計予算⇒6,961万3,000円
- ・下水道事業会計予算⇒96億1,622万6,000円
- ・地方卸売市場事業特別会計予算⇒2億7,431万4,000円
- ・病院事業会計予算⇒37億3,704万6,000円
- ・国民宿舎特別会計予算⇒9,638万5,000円
- ・介護老人保健施設事業会計予算⇒4億2,871万3,000円
- ・駐車場事業特別会計予算⇒4,833万5,000円
- ・モーターボート競走事業会計予算⇒319億9,031万2,000円
- ・水道事業会計予算⇒60億9,064万5,000円

### 平成28年度補正予算

- ・一般会計補正予算（第6号）、国民健康保険特別会計補正予算（第3号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）、介護保険特別会計補正予算（第3号）、簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）、地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）、国民宿舎特別会計補正予算（第2号）、下水道事業特別会計補正予算（第1号）、病院事業会計補正予算（第1号）、介護老人保健施設事業会計補正予算（第1号）

### 条例改正など

#### 《人事案件》

- ・監査委員の選任⇒中村研二氏

#### 《指定管理者の指定》

- ・新南陽プール、国民宿舎湯野荘、徳山社会福祉センター、新南陽総合福祉センター（新南陽デイサービスセンターを除く）、軽費老人ホームきずな苑、須金老人デイサービスセンター、大津島老人デイサービスセンター、鹿野高齢者生産活動センター、久米老人憩の家、西部老人憩の家、新南陽総合福祉センター（新南陽デイサービスセンター）、石船温泉憩の家、障害者デイサービスセンター、心身障害者福祉作業所つくしの家、新南陽市民病院、介護老人保健施設ゆめ風車、児童館、長穂児童園、大潮田舎の店、金峰杉の里交流館、新南陽駅前広場駐車場、富田東地区コミュニティセンター、地域交流センター、福川地区コミュニティセンター、福川南地区コミュニティセンター、大田原自然の家

#### 《条例の一部改正》

- ・公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例、一般職の職員の給与に関する条例、市税条例、特殊勤務手当支給条例、国民健康保険条例、新南陽総合福祉センター条例、老人デイサービスセンター条例、児童クラブ条例、手数料条例、教育支援センター条例、国民健康保険条例

#### 《条例制定》

- ・教育支援センター条例

#### 《その他》

- ・工事請負契約の一部を変更（徳山動物園リニューアル自然学習館建築主体工事、（仮称）新徳山駅ビル及び付帯駐車場棟建築主体工事、新庁舎建設建築主体工事）
- ・訴えの提起
- ・山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更
- ・山口県市町総合事務組合の財産処分
- ・動産の買入れ（新庁舎セキュリティシステム機器）

報告：損害賠償の額を定めることに関する専決処分（4件）

議会報告：例月出納検査の結果（3件）、定期監査結果（2件）、財政援助団体等監査の結果（2件）



# 新年度のまちづくりを問う!



# 会派質問

議員名は代表者、副代表者、五十音順で掲載しています。

## アクティブ



清水芳将 岩田淳司  
井本義朗 土屋晴巳  
山本真吾

### 「施政方針質疑」

#### 歩いて楽しいまちづくり

**問** 歩いて楽しいまちづくり実現のため、市街地循環バスを検討するところがあるが、まちが大きく変化するこの時期に、中心市街地内の拠点施設を結びパーク・アンド・ライド機能導入は効果的だと思う。どのような検討手法を取るのか。

**答** 駅前図書館や動物園等との回遊性を高め、にぎわい交流を市街地全体に広げるために、公共交通としての循環バスを再検討する。ぐるぐるバスの経験を踏まえ、アンケート調査や商店街からの意見聴取をし、活性化につなげたい。

#### 子どもの貧困対策

**問** 子どもの貧困は、行政が

手を差し伸べる必要がある問題であるが、その実態は非常に見えづらい。子どもたちは貧困によって物や人とのつながり、教育を受ける機会や経験などが奪われ、またそうした環境が子どもの自己肯定感や将来に対する希望の欠如などに影響を与えている。本市でも詳細な指標を設定して実態調査することで、どういった人たちにどういう支援が必要なのかを明らかにする必要があると思うがどうか。

**答** 新年度に予定している子どもの貧困の実態調査は、18歳未満の子どもとその保護者約8600世帯を対象に行つた。物質的な剥奪という指標は相対的貧困率だけでは見えない部分を補完する有効な測定方法である。さまざまなアンケートにより今回徹底的に調査を行い、将来の施策に生かしていきたい。

#### 適切な道路維持の取り組み

**問** スマートフォンを使用した道路点検の内容は。

**答** 市民が道路の異常箇所を役所に通報できるアプリを導入する。

**問** 道路の異常箇所以外の通報も可能か。

**答** 今回は道路の異常箇所のみであるが、これからいろいろな可能性を探っていく。

#### 大津島地区の買い物支援

**問** 大津島地区への買い物支援の取り組みの内容は。

**答** 今年度新たに離島活性化交付金を予算に計上した。移動販売事業者へ島までのフリー代の補助をしていく。

#### 動物園の料金改定

**問** 動物園はなぜこのタイミングで料金を上げようとするのか。

**答** 本格的にリニューアル工事が始まって平成28年度で全体の3分の1が終了予定である。リニューアルによる新しい動物園を披露し、また新たなサービスも検討したい。その



リニューアルが進む徳山動物園

れに見合う料金への改定を行う。なお、市内の小中高校生は引き続き無料となる。

#### クリエイティブ産業の成功は

**問** クリエーティブ産業を成功させるには、市外県外のクリエイターだけでなく、地元クリエイターとも手を携えて進めていかねば先は開かないと考えるがどうか。

**答** 新年度では、地元クリエイターの方々に働きかけをし、しっかり情報共有をしながら共に進めたい。

#### 「新年度予算質疑」

#### 自主財源比率は

**問** 自主財源の確保は大変重要である。将来の自主財源比率に対する市の考えは。

**答** 50パーセントを維持できるようにいろいろな施策を講じていく。人口減少に伴って個人市民税は減っていく傾向にあるが、大事な事は減る財源に伴って支出を抑えることである。支出をできるだけ抑え、それが市民サービスの低下につながらないような方策を職員全員で考えていく。

#### 年度末市債残高は

**問** 年度末市債残高は931億円とあるが、市の実質的負担額はいくらか。

〔会派一般質問〕  
臨時財政対策債316億円と合併特例債318億円を除いた392億円が実質的負担額であり、その額は平成29年度末がピークになると見込んでいる。

〔会派一般質問〕  
周南緑地基本計画は

〔会派一般質問〕 サッカー場や陸上競技場など、周南市体育協会からの施設改修要望に早急に対応していくための、平成29年度での体制整備と回答書を。

〔会派一般質問〕 メーンエントランス改修を終え、各競技団体・体育協会・市の三者での具体的体育施設改修協議に入りたい。平成30年度からの整備順序や内容、実現性まで含め明確に協議し、回答書についても検討したい。



陸上競技場

公明党



金井光男 相本政利  
遠藤伸一 金子優子

〔施政方針質疑〕  
認知症対策

〔施政方針質疑〕 認知症への対応や認知症予防への取り組みを総合的に進めるとあるが、具体的な取り組みは。

〔施政方針質疑〕 認知症サポーター養成講座の開催、認知症ケアパスの作成配布、認知症家族会、認知症カフェへの支援。市の主催による男性介護者の集い。認知症初期集中支援チームの設置。新たな取り組みとして簡易認知機能スケールを使った簡単なチェックをイベントで行う。

子育て支援

〔子育て支援〕 産前・産後ホームヘルプ派遣事業の設置目的は。

〔子育て支援〕 育児や家事の支援が必要な方へ訪問介護事業者を派遣し、妊娠中や出産後の心身の

不調などによる子育てや家事に支障がある方への負担を少しでも軽減するためである。

〔子育て支援〕 幼児教育アドバイザーの業務内容は。

〔子育て支援〕 幼稚園・保育所・認定こども園の枠を超え学びの共有化を図ることで、幼児教育に携わる全ての職員の資質を向上させ、本市の幼児教育のさらなる質の向上を目指す。

〔施政方針質疑〕  
中心市街地活性化

〔施政方針質疑〕 市街地循環バス運行の検討目的は。

〔施政方針質疑〕 中心市街地、街なかをにぎやかにしていくことを目的として、パーク・アンド・ライド手法を取り入れた、市街地に來られる方にとって使いやすい交通環境を整備する。

〔施政方針質疑〕  
交通ネットワークの構築

〔施政方針質疑〕 山口県内で初となる「立地適正化計画」を策定するとあるが、交通ネットワークの取り組みが弱く感じる。

〔施政方針質疑〕 コンパクト・プラス・ネットワーク、いわゆる公共交通の連携は平成28年度に策定した「地域公共交通網形成計画」を軸として互いに連携を取りながら進めていく。

〔施政方針質疑〕  
中学校環境整備

〔施政方針質疑〕 中学校の普通教室空調整備の状況は。

〔施政方針質疑〕 平成28年度から取り掛かり、各学校の設備面の状況および整備手法を検討している。新年度で5校分の実施設計に着手し、その後順次整備を行い平成32年度には全中学校の整備を完了する予定である。

〔会派一般質問〕  
周南市業務継続計画の策定

〔会派一般質問〕 大規模災害発生直後から適切な業務実施を目的として策定された業務継続計画だが、繰り返しの内容見直しや市民への周知が重要と考えるが。

〔会派一般質問〕 執務環境の変化や職員配置の変更などに伴い毎年見直ししていく。また、市民の関心が高まっていることから、周知は出前トークなどで直接行っていく。

〔施政方針質疑〕  
保育士の確保

〔施政方針質疑〕 全国で保育士不足や待機児童の問題が深刻化しているが、本市の取り組みは。

〔施政方針質疑〕 本市は、厚生労働省の定義する待機児童はゼロで、適正な職員の配置もなされているが、一時預かり事業のように、定員に空きのある中で行う事業や年度途中の入所に対応するために「保育士トライ

アル制度」や「保育士就職フェア」などを進めて保育士の確保に努めていく。



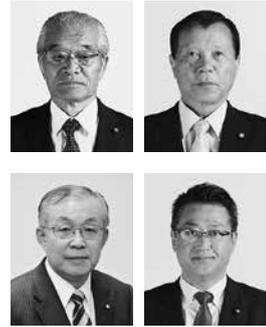
保育士就職フェア

〔施政方針質疑〕  
野犬対策の現状は

〔施政方針質疑〕 野犬対策への新たな取り組みは。

〔施政方針質疑〕 環境省・山口県・周南市が連携して、環境省のモデル事業を実施。モデル事業での検討会で「緊急に行政による野犬を捕獲すべき」との方針が示された。周南環境保健所と連携し、繰り返し捕獲を行っていく中で、野犬が減っていくと考える。捕獲した野犬は、全頭譲渡を県にお願いしており、現状ではほとんど譲渡されていると伺っている。

新誠会



田村勇一 坂本心次  
兼重 元 米沢痴達

〔施政方針質疑〕

平成29年度一般会計予算70億3900万円の概要は

最大の特徴は何か。

〔答〕 にぎわい元年予算とし、駅前図書館、新庁舎建設、動物園のリニューアルなど、新たなにぎわいを予感させるスタートという思いで予算編成をした。

〔問〕 長期的な視野に立った財政運営は。

〔答〕 地方交付税、各種交付金は大幅な減収となったが、今の市民生活に不可欠な事業、子育て支援、教育、市民の安心安全の確保など着実に実施し、戦略的な投資を行う。将来に向けて種をまき、選択と集中、歳出予算の削減や市の実質負担を見極めた上で市債の発行などに留意をし、長期

的な視点に立って予算編成を行った。

〔問〕 公共施設マネジメントの推進と進捗状況は。

〔答〕 平成27年8月に公共施設再配置計画を策定し、その実効性を高めるためにアクションプランを作成し、長寿命化への取り組みを行っている。予防保全の観点から計画的な保守、修繕の実施、長期修繕計画の策定を進める。

〔問〕 公共施設再配置計画を確実に進めるための課題は何か。

〔答〕 本市にとって、これからの未来、避けることのできないう大きな命題である。市民の理解、市民と共に進める手法、市民参画、限られている時間の中で最大限の労力で進める。施設分類別計画の策定に、これまで以上のスピード感を持つて取り組む。

〔問〕 周南市版の地域で育てた子ども像とは何か。

〔答〕 思いやりの心、規範意識というような豊かな心、健やかな体、確かな学力、それぞれ調和のとれた力として子どもたちが身に付け、将来、一人の社会人として自立していくことを願っている。また、コミュニティ・スクールの取

り組みで、地域との交流により、自分たちは地域の中で育まれているという実感を子どもたちが持ち、自分たちが住む地域の核となる人材として育つ子どもになってほしい。

〔問〕 フサビの超促成栽培の途中経過と今後の展望は。

〔答〕 平成28年度、県の関係機関と連携して長野山に設置したビニールハウスで育苗されたフサビの苗を農家へ提供して、通常の栽培方法との比較のための実証実験を行っている。また、新しい新規就農者もこれにチャレンジでき、6次産業化への挑戦もできる。

〔会派一般質問〕  
改訂された徳山下松港湾計画は

〔問〕 基本方針に地域の特色を生かした親水交流空間の創出とあるが、駅南のまちづくりはどう連動させるのか。

〔答〕 ポートビルの設計に、イベントスペースや工場夜景を楽しめる機能が盛り込まれている。駅・ポートビル・親水公園などを活用し、にぎわいの創出を図る。

〔愛称「しゅうニャン市」は、歴史と伝統と文化の薫る本市にふさわしいものか

〔問〕 市の名前は、神聖なもの

であり、語呂合わせの「しゅうニャン市」に不快感を抱く。市内各所に張り巡らしてあるしゅうニャン市宣言のポスターで、市民に愛着と誇りが深まるか。

〔答〕 しゅうニャン市プロジェクトの趣旨を正しく伝えることで、理解を得られると思う。動かない周南市より、挑戦する周南市を選択したしゅうニャン市シティプロモーションは、市長としての覚悟だ。

刷新クラブ



小林雄二 田村隆嘉  
田中和末 得重謙二

〔施政方針質疑〕  
学校教育の方針

〔問〕 社会で育む少子化プロジェクトに、保育所・幼稚園・認定こども園・小中学校が「地域で育てたい子ども像」を共有とあるが、どのように施策展開されるのか。

〔答〕 教育・子育ては、教育委員会と市長部局が共に進めて行かなければならない。教育の内容、政治的な中立性については教育委員会の役目であり、教育環境をしっかりと支えるのが市長部局の役目である。

〔公民館の施設整備〕

〔問〕 公民館等施設整備計画の素案が発表されたが、示された計画期間にどの程度整備するのか。

〔答〕 耐震性や稼働状況などから、公民館などの整備の優先順位を付けた。今後の施設整備は他の公共施設の整備計画策定や政策判断などにより、現行施設の存続・廃止・統廃合などの事情が生じた場合には、随時計画を見直す。

〔公民館の市長部局への移管検討〕

〔問〕 来年度移管を検討するところがあるが、公民館という名称や現在複数ある運営形態についても見直すのか。

〔答〕 まちづくりの要となる施設と捉えている。名称や管理運営体制についても十分検討し、必要であれば見直ししていく。

〔新年度予算質疑〕  
港湾整備の県事業負担金

〔問〕 徳山ポートビルの解体と実施設計を県が予定している

が市の負担はいくらか。

再編事業の中で、仮設事務所整備とポートビル解体を6500万円の予算規模で計画しており、本市の負担は4分の1の1622万円を考えている。

**地域づくり支援事業の進め方**

事業内容として、夢プラン策定や人材育成、ホームページ作成の他に部局を超えた地域づくり推進体制の充実とあるがどのように取り組むのか。

地域づくりに関わる部署は多くの課にわたっている。地域づくりの研修会やファシリテーターの研修会は部局を越え、公民館主事や地区に関わる課だけでなく、多課にまたがって募集し、職員的能力アップに取り組む。

**【公派一般質問】**

**高齢者や障害者にやさしいまちづくり**

公共施設におけるバリアフリー化の進捗状況は。

平成18年にバリアフリー法が施行された以後、新たに整備された19施設は基準に沿った設計建築がされているが、施行以前に整備した施設はバリアフリー化が不十分なものもある。より使いやすい施設

となるよう、可能なところから改修、修繕を行っている。

**ひきこもり支援と不登校支援**

本市の不登校児の実態は。

小学校は平成20年度をピークに昨年度は3分の1に減少、中学校では平成18年度をピークに昨年度は3分の2に減少し、全国平均を大きく下回っている。

**社会復帰に向けた本市独自の支援策は。**

もやいネットセンターや自立相談支援センターで相談を受け付けており、状況に応じて福祉や医療についての情報提供やひきこもり地域支援センターにつないでいる。また、しゅうなん若者サポートステーションや自立支援センターで就労支援を行っている。



もやいネットセンター

**参輝会**



青木義雄  
福田文治  
長嶺敏昭

**【施政方針質疑】**

過去最大の予算で今後は大丈夫か。

今後も、身の丈に合った財政構造、歳入規模に応じた歳出を実現していく。その中で、中山間地域を含め周辺部にも、しっかりと目配りをする。

**シティプロモーション事業**

シティプロモーションは、市民の幸福度を高めるのか。

そこに住む地域住民が、どれだけ幸福と誇りを持っているかという、シビックプライドの醸成を目指すべきであり、市民力を生かしたシティプロモーションを継続的に行うことで、実現していく。

しゅうニャン市プロジェクトは成功するのか。

しゅうニャン市は、愛称であると同時に戦略ワードであり、「猫のよっこのびのび

と居心地よく暮らせるまち」を目指す。親しまれやすく、実は優れた戦略性が秘められている。それを実証していく。

**【新年度予算質疑】**

**モーターポート競走事業**

モーターポート競走事業会計の現状と今後は。

昨年オープンしたオラレ田布施は非常に好調で、1日売り上げ200万円の予定が、3倍の1日600万円を売り上げており、電話投票も順調に伸びている。ずっと毎年右肩上がりだが、業界の中でモーターレースが余りにも好調なため、現在の3場から、もう1場参入することが近い将来に考えられる。好調を維持するためにも今後いろいろな施策を打っていく。

**【公派一般質問】**

**危険空き家への対策**

平成25年に周南市空き家等の適正管理に関する条例が制定され、以降どのような取り組みがされたのか。

危険な空き家として3件を認定した。所有者に対して助言・指導・勧告を行い、改善が認められない場合は、必要な手続きを経て、法に基づき行政代執行を行う。

**大河ドラマの誘致**

児玉源太郎を主人公としたNHK大河ドラマの実現にアクションを起こす考えはないか。

大河ドラマは、1年間の日程で、誘致に向けては史実の掘り起こしや分析が必要である。児玉源太郎は、明治を生き抜いた男として、NHK大河ドラマの主人公にふさわしい人物である。大河ドラマの誘致は、知名度向上や観光客増加、ふるさとに対する愛着と誇りが高まるもので、将来的に大河ドラマ誘致に向けて取り組んでいきたい。



児玉神社

# 晴矢会



古谷幸男  
尾崎隆則  
友田秀明

## 【施政方針質疑】

### 将来のまちづくりの展望は

**問** 愛称しゅうニャン市は、政治生命をかける思いがあるのか。

**答** 全て真剣に取り組み覚悟である。

**問** 中学校の空調設備は計画的に取り組むとあるが、小学校の対策はどのように考えているのか。

**答** まず中学校を計画的に進め、その後を検討する。

**問** 中学校までの医療費の無料化は取り組むのか。

**答** 引き続き調査研究するとともに、新年度に実施予定の子どもの生活に関する実態調査、平成30年度に予定している次期周南市子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査の結果を踏まえて、検証・選択をしていく。

**問** 長穂地区の夢プランとモ

デル事業、公共施設再配置は全体的にどのように理解するのか。児童園の問題は解決していない。

**答** 地区別計画はまだ策定されていない。新支所・公民館の整備は、喫緊の課題であり、整備事業に着手する。

## 【新年度予算質疑】

**問** ふるさと応援寄附金、平成28年度は43万3000円、平成29年度は5000万円である。歳出は2000数百万円となっている。全体の予算背景はどういう捉え方か。

**答** 周南市シティプロモーション事業の中で、結果として生み出されるもので、5000万円計上した。歳出は返礼品で2500万円計上している。残りが収入である。

## 【会派一般質問】

### 学校給食センターPFI方式の取り組みを問う

**問** ①アドバイザリー契約はすでに契約したのか。②17年間で約2億8000万円削減とあるが、誰が試算したのか。

**答** ①2月16日の選定委員会において業者選定し、契約締結に向けて進めている。②市が業務委託した株式会社社長が試算したものである。

## 古川跨線橋架け替えの説明を

**問** 古川跨線橋架け替えの進捗状況は。

**答** JR西日本・JR貨物との跨線部の構造、施工区分、施工方法や工程などについて綿密に協議を行っているため多大な時間を要している。



古川跨線橋

## 周南市議会で取り組んだ百条委員会の意思決定はどう生かしているのか政治姿勢を問う

**問** 周南市防災情報収集伝達システム、防災行政無線および無線LAN整備について設計ミスで工事が中断している。市長の政治姿勢を問う。

**答** 実施設計が不備であり、誠に遺憾。百条委員会による市議会の決議を十分認識し、重く受け止めている。

# 静林会



福田健吾  
佐々木照彦  
藤井康弘

## 【施政方針質疑】

### シティプロモーションのあり方は

**問** しゅうニャン市と行政主導、上意下達で言葉を選んだことについてどう考えるか。

**答** 皆で盛り上げていくので「共に。」としている。エープリルフル企画が予想以上に全国に影響を呼び、アドバイザーからの提言もあり、強力なコンセプトとして柱にすることとした。

**問** 自立した地域づくりプロジェクトの継続的支援は

**答** 共創プロジェクトの目的は非常に理解できるが、単年補助であっては継続性が保てないと感じるがどうか。

**問** あくまでも初期投資にあたるものと考えており、今後の展開において、改善できるものは改善していきたい。



神楽でまちづくりプロジェクト

## 【新年度予算質疑】

### 英語教育推進の方法は

**問** 英語教育推進の考えは。

**答** 小中学校だけ見ても英語教育の重要性は問われており、時間も増えてきている。本市では、8名の外国語指導助手にネイティブな発音や話し方のレクチャーを受けている。

**問** 2020年度に小学3年生から英語必修化、5年生から教科化が完全実施となるが負担は増えないか。

**答** 5・6年生は教科化による70時間の枠がカリキュラムに吸収できない。35時間は増やしたが、残り35時間については学校の裁量で何とかするという流れになっている。

# 日本共産党



魚永智行 中村富美子



学校も週5日の枠の中で、完全に立すいの余地もないカリキュラム編成の中で増やしていくということは、教員にとっても非常に大きな課題であり、特に小学校において非常に大きな課題であると認識している。

## 【公派一般質問】

しゅうニャン市という愛称の裏付けとなる具体的政策を

「しゅうニャン市」は、

周南市の愛称であって、猫にやさしい町ということではなく、「人が猫のように自由に暮らせる町」を意味するとされているが、しゅうニャン市と名乗る以上、せめて次のような猫好きの人もそうでない人も納得する具体的な野良猫対策を実施して「人と猫が共に暮らせる町」も標榜すべきではないか。①ワンワン銀行をワンニャン銀行にして子犬の譲渡会と共に子猫の譲渡会を実施すること。②野良猫の不妊・去勢手術費の助成制度を創設すること。

①いくつか問題点があり、当面は山口県動物愛護センターの取り組みを紹介していきたい。②地域猫活動認定制度などと併せて検討したい。

## 【新年度予算質疑】

熊毛・鹿野の簡易水道統合による料金引き上げの回避は

平成29年度から、熊毛・

鹿野の簡易水道が水道事業に統合される。このことで料金を上げなければならぬ事態になってはいけない。熊毛地域で整備した簡易水道の起債の元利償還や熊毛・鹿野の赤字補填は、一般会計からの繰り入れが必要と思うがどうか。 統合によって水道事業の経営状況が悪化し、今の水道サービスが停滞することがあつてはならない。市長部局と協議を重ね、統合することによる現金不足を解消するため、2億4700万円程度の一一般会計からの繰り入れをすることを考えている。

## 【公派一般質問】

「しゅうニャン市プロジェクト」はやめるべき

税金の使い方として間違

っている。新年度以降は市費

は使わず、市民有志にボランティアでやっていたらどうか。

立ち上がりにおいては、市が戦略に基づく事業計画を立てる。その後、市だけが税金を使って取り組むのではなく、市民・企業・団体が自主的に参加し、貢献できる仕組みを整えていく。

国道2号立体化事業と都市計画道路の整備の見直しは

三田川交差点立体化と都市計画道路の完成見直しはどうか。

沿線住民や商業者の意見は、国土交通省が分析、検証し丁寧の説明してきている。徳山停車場線、慶万浦山線、泉原合田敷線についても都市計画道路の見直し方針を策定する中で、重要度・優先度・実現性を検討していきたい。

## 会派に属さない議員



福田史江子

## 【施政方針質疑】

幼児教育の新たな取り組みは

県内初の幼児教育アドバ

イザー設置を判断した要因は。

国における幼児教育を取り巻く量の拡充と質の向上の取り組みを踏まえ、子育てするなら周南市ということでは、保育幼稚園課での相談管理一元体制や研修を行う体制が整っていることから、幼児教育アドバイザーを設置し、さらなる質の向上に力を入れたい。

技術力向上から社会の発展へ

下水道革新的技術実証研究事業（B・I・D・A・S・Hプロジェクト）への参加を検討できないか。

処理水活用の観点から大いに関心を持っており、調査事業が継続となれば、浄化センター敷地の一部提供など協力・連携を図り、新技術の実現に向けて支援したい。

## 会派に属さない議員



島津幸男

## 【施政方針質疑】

全員バッジは異様

議会雑壇の市幹部全員が、しゅうニャン市バッジを着用

しているのは異様な光景。教育長までも着用しているが教育現場への影響が心配だ。

市職員なら当然。理解し、共に進めるものである。

## 【二般質問】

しゅうニャン市より動物愛護日本一を

山口県は、野犬殺処分で国内3番以内。本市は、その半数を占め、悪評である。しゅうニャン市なら、動物愛護日本一を目指し、ふるさと納税に動物愛護の項目を加え、市民の安心安全のためにも野犬や猫への早急な整備を考えるべきではないか。 しゅうニャン市プロジェクトは、市の認知度向上の手法。動物に関する施策ではない。

## お詫びと訂正

平成29年2月15日号9ページの中村富美子議員の一般質問の中で、記載に誤りがありました。正しくは、「介護保険の要支援1・2の訪問介護」です。お詫びして訂正します。

# 公共施設再配置及び新庁舎建設に関する 特別委員会懇談会（ミニコン）

周南市議会では、市民の皆さんの生の声を議会活動に生かすため、平成17年から委員会懇談会（ミニコン）を開催しています。このたび、公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会でミニコンを開催しました。

議 題 鹿野地区の公共施設について  
日 時 平成29年2月17日（金）14時～16時  
場 所 コアプラザかの  
出席団体 鹿野地区自治会連合会（5人）、明るく元気な鹿野をつくる会（1人）、  
鹿野町商工会（1人）

## 委員会懇談会（ミニコン）とは

市民と議会が、懇談することにより自治意識の高揚を図り、議会においても市民が参画する機会を確保し、市民の声を議会活動に生かすことを目的として、各常任委員会または特別委員会において、議案等の審査または所管事務の調査を行うため必要と認める場合に、市民（団体）と懇談会を開催するものです。

周南市議会では、小規模な懇談会（ミニコン）と称して開催しています。

## 【懇談内容の概要（団体からの意見）】

懇談では、総合支所の整備に関するご意見を多く伺いました。施設整備だけでなく、産業や観光など多岐にわたり、鹿野地区全体の将来を見据えたまちづくりも踏まえた様々なご意見を伺うことができました。

コアプラザは、災害発生時に避難場所となる学校等と連携がとりやすい

庁舎は町の中心にあるべき。また、現在地に定めて100年以上の歴史がある

現在地に駐車場や売店、休憩所を整備し、清流通りを通り町なかを散策するルートをつくるという

現在地に観光機能も整備されるといい

名水百選に選ばれたことを生かして水にちなんだ観光を充実できれば

コアプラザに移転した場合、歩行者の安全対策が十分にできるか懸念される

コアプラザはバスが止まるので便利

現在地は3つの道路が交差しており交通アクセスがよい



# 委員会レポート

常任委員会が調査を行ったものや特別委員会での協議内容を報告します！

## 防災情報収集伝達システム 防災行政無線および無線LAN整備工事の遅延

### ◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

防災行政無線および無線LAN整備工事の遅延について、山口大学教授・実施設計業者・工事受注者・市の4者で無線LAN回線の再設計・電波伝搬再調査結果の検証など、協議した結果を報告するものです。

### ■ 協議結果 ■

- ・現状だけでなく、将来を含め通信回線の安全性を確保すること。
- ・基幹回線・コミュニティFM電波送信回線は、有線による冗長化を図ること。
- ・基幹回線において、本庁舎周辺の伝搬路上に建築される

- 高層建築物に対応するため、市で事前に建築情報が確認可能となるよう、要綱を整備するなどの対策を講じること。
- ・通信の安全性を確認後、見直しされた回線設計、有線による回線の冗長化を反映した工事設計図書の変更作業を進めること。

### 企画総務委員会での調査

**問** 本庁舎周辺の電波伝搬路確保のために要綱を整備するなどの対策を講じるということだが、高層建築物の制限ができるのか。

**答** 高層建築物が建てられる際に、情報を受けられるようにし、市でどういった対策ができるか検討していく旨の要綱を整備したい。ただし、建物を建てることは制限できないため、そういった情報があった場合に、アンテナの設置や別ルートを探すなどの協議・検討の期間を設けたいと考えている。

**問** コミュニティFM電波は、市内7か所に中継所があるが、全てに有線を追加するのか。

**答** 有線を追加することになるが、NTTの回線を利用させてもらう予定である。今回、回線の全体的なルート変更や見直しを行っており、それに合わせ、有線の冗長化も進める。

**問** 設計変更が確定するのはいつか。また、実施設計の契約内容や金額は変わるのか。

**答** 現在、電波伝搬路の安全確保の面から、実施設計業者が、電波法が定めた判定作業を行っている。安全性の確認がとれ次第、市で変更に向けた作業を進めていくため、今の時点では確定時期は正確に示せない。実施設計業務委託は、新たに変更契約をするものではなく、金額変更も考えていない。

**問** 新庁舎ができた時に設置する方が、経費節減ができるのでは。

**答** 当初は、総合通信局から、防災行政無線スピーカーを設置したら、すぐに放送できるようにしなければならぬと聞き、そのように設計を進めてきた。現在、工事が遅れており、新庁舎完成時に1度で設置すれば経費が節減できるため、検討したい。

## 公共施設再配置の進捗状況

### ◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

用途廃止などとなった施設の利活用の状況について、公共施設再配置計画に示す施設分類に準じ、施設名・建築年・用途廃止の年月・建物の現在の状況や将来の予定などをまとめた一覧表に基づき説明を受けたものです。

### 公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会での調査

**問** 利活用検討施設が多くあるが、どこでどのように検討するのか。

**答** これまでは、用途廃止され普通財産となった施設の情報共有が全庁的なものになっていなかったため、平成29年度から副市長をトップにした、利活用方法を検討する意思決定の場を設ける。その中で調整しながら、さらに市民のみなさんと話をしながら意思決定をしていきたい。

**問** 平成29年度売却予定と記載されているものは、予算計上されているか。また、その総額は。

**答** 新年度予算に、1億7,000万円の土地売払い収入を計上しており、そのうち1億5,000万円が施設マネジメント課の所管になる。

**問** 市民館跡地は、当面、市役所仮駐車場として利用するとあるが、その利活用はこれまでさまざまな議論がされてきた。それらの検討状況は。

**答** 平成27年6月の市長所信表明において、市民館跡地は本市の都心軸にふさわしいものに活用したいとの考えから、検討案の一つとして述べられた、国の機関の集約について、さまざまな可能性を検討するため、中国財務局と情報交換をしている。

**問** 施設分類別計画の策定目標は。

**答** 平成29年度中に全ての施設分類別計画を策定するよう取り組んでいる。

**問** 地域のまちづくり計画ともいえる夢プランと、再配置計画の関連性は。

**答** 夢プランと公共施設再配置計画のいずれも、それぞれの目的・趣旨をもって進めているが、地域のまちづくりを行う上で、施設の活用は大いに関係する部分があると思っている。それぞれ別の計画ではあるが、どうリンクさせていけばよいかという視点で、地域のみなさんと行政と一緒に考えていくべきと考えている。

## 「さらなる患者負担増で受診抑制が起きないように、現行の高額療養費制度及び高齢者の窓口負担の継続並びに介護保険制度の現状維持を求める意見書」採択に関する陳情

### ◆ 審査の要旨 ◆

陳情の審査にあたり、2月23日の委員会で執行部に対し陳情に係る制度や状況等の説明を求めることを決定し、3月3日の委員会で執行部から説明を受けたのち審査したものです。

#### 教育福祉委員会での審査

**問** 2015年に、大幅改正された介護保険第6期計画が開始して以降、サービスの低下などはなかったか。

**答** 一部2割負担になった方がいたが、高額サービスにより払い戻される場合もあり、実際に2割負担を要因とした利用減少の分析が難しく、市としてそこまでできていないのが現状である。

**問** 陳情の中で、見送りと記載されている項目があるが、どのような状況なのか。

**答** かかりつけ医以外の受診に対する3割窓口負担に上乗せする受診時定額負担の導入は、2018年度中までに検討し必要な措置を講ずることとなっている。市販類似薬の保険外しは、今後も議論を進めていくこととなっており、今回の改正には含まれていない。要介護1および2の生活支援サービスの保険外し

は、訪問介護の生活援助サービスについて、社会保障審議会において介護予防訪問介護等の移行の状況などを把握・検証して改めて検討することになっている。福祉用具の貸与や住宅改修サービスの保険外しは、財政制度審議会でも個人負担についても議論され、抜本的に見直すべきと示された一方、社会保障審議会では価格などの適正化について意見が提出されているが、在宅で生活するためには必要との議論が多く、個人負担についての議論がされていない状況である。なお、要支援1および2の方に対するデイケアを介護保険対象外とする議論は、市が把握している範囲ではなされていない。

**問** 社会保障審議会介護保険分科会の委員に、利用者や事業者も含まれているのか。

**答** 利用者団体や事業者団体の代表が含まれている。

委員から、「陳情に記載されている各施策の制度が改正済みであったり、見送りされていたり、検討されていないものもある状況である。医療費負担・介護保険制度の現状維持を求める陳情だが、社会保障制度の根幹に関わる内容のため慎重に審査を行う必要がある」との継続審査を求める意見があり、採決の結果、全会一致で継続審査とすることに決定しました。

## 全員協議会の概要

### 公民館等施設整備計画（素案）

2月22日の本会議終了後、執行部から公民館等施設整備計画（素案）の説明を求めるため全員協議会を開催しました。

#### ● 要旨 ●

この計画は、平成27年8月策定の公共施設再配置計画に基づき、行動計画である施設分類別計画として、県内最多となる公民館施設39館44棟について、今後の整備の優先順の考え方を示すものです。

基本的な方向性として、耐震性がなく公民館利用者への影響のより大きい建物について、優先的に整備を進めることとしています。

#### ● 基本的な考え方 ●

公共施設再配置を踏まえ、整備手法は、大規模改修・他の施設へのサービス機能の移転・建て替え（解体）の3つを基本とし、下記の具体的な方針を踏まえた現状のサービス水準は維持しつつ、長期的な視点で費用対効果が最も高い手法での整備を進めます。

#### ● 具体的な方針 ●

- 生涯学習機能を果たす施設
- 地域づくりの拠点施設
- 多様な人が集う交流施設
- 耐震基準を満たす安全な施設
- 災害時の避難所・地域支援の拠点施設
- 効率的・機能的な施設

#### ● 主な質疑 ●

**問** この整備計画は、どこが全体的にまとめていくのか。

**答** 全体的な地域における公共施設の調整は、市長部局が担当する。今回は、公民館のため教育委員会が担当している。

**問** 現在のモデル事業としているところと、そうでないところの差異はどのように考えるのか。

**答** まず全体を機械的に優先順位を分類し、その内長穂・和田のモデル事業2地区は優先順位を上位グループに位置付けた。

**問** モデル事業以外の地域は、市が計画案を示し地域住民の意見を聞いて進めていくのか。

**答** 市がまず計画案を示し、地域住民の意見を聞きながら進めていく。

**問** 地域の夢プランづくりと公共施設再配置とどうリンクさせていくのか。

**答** 公民館機能は、各地域に残し維持することを前提に進めている。公民館機能を地域に残しながら、それぞれの条件の中で他の施設と一体化など地域の夢プランと調整する。

**問** 支所・公民館併設の場合は、どう考えればよいのか。

**答** 平成30年度に公民館を地域のコミュニティの活動拠点として市長部局に移管し、一体的な整備を進めていく。

**問** 全体の建物の数そのものの適正化は考えないのか。

**答** 公民館は、支所とともに地域の拠点となる施設で、その機能を維持することを前提としてこの計画を策定している。

**問** コミュニティセンターはどう考慮していくのか。

**答** 公民館と同様に管理・運営をしていきたい。

**問** 今後、ワークショップを各地区で行い整備を進めるべきでは。

**答** 地域の皆さんに再配置計画の趣旨を理解してもらうことが必要。スピード感を持って進めるために、地域の状況に合わせた方法で進めていく。

**問** 計画期間は平成36年度までだが、今回示された優先順位はどういう意味があるのか。

**答** 今回は、今あるものを分類整理した。今後、さまざまな事情が変われば優先順位は変わっていく。

**問** 今回は素案だが、整備計画としてまとめる予定はいつか。

**答** 平成28年度内にまとめたたい。

# ようこそ周南市へ ～行政視察受け入れ状況～

周南市では、「第2次まちづくり総合計画」に基づき、「∞（無限）の市民力と最大限の行政力を結集し周南の価値を高めるまちづくり」を基本理念とし、特色のあるさまざまな事業に取り組んでいます。

また、現在、市を挙げて「周南コンベンションシティ」の取り組みを推進しています。これは、全国規模の会議や大会、イベント等を官民挙げて積極的に誘致しようとするもので、周南市議会でもより多くの議会の方にお越しいただけるよう、積極的に情報発信を行っています。

平成28年度は、27都道府県49議会、延べ375人が視察に訪れました。

視察項目トップ5	
順位	視察項目
1位	水素利活用の取り組み
2位	もやいネットセンター推進事業
3位	議会運営・議会改革
4位	徳山駅周辺整備事業
5位	道の駅ソレーネ周南の概要・運営 公共施設再配置計画

その他、夜型観光推進事業、防災情報収集伝達システム整備事業、周南コンベンションシティ推進事業、新庁舎建設事業など、全23事業が全国の議員の方から注目されています。

## 市議会からのお知らせ

### ■ 議会を傍聴しませんか

○先着順でどなたでも傍聴できます。

### ■ 6月定例会の予定

5月29日(月)	本会議
5月31日(水)～6月5日(月)	本会議（一般質問）
6月6日(火)	常任委員会
6月7日(水)～8日(木)	予算決算委員会
6月15日(木)	本会議
6月22日(木)	本会議（議会人事）

※本会議・委員会は、午前9時30分から開催します。（土・日曜日は休会です。）

※日程の変更は、市議会ホームページでお知らせします。

### ■ インターネット議会中継

本会議の生中継と録画放映で、録画放映は、本会議の3～4日後から視聴できます。

[周南市議会 インターネット中継](#)で

[検索](#)を

### ■ ケーブルテレビ議会中継

**本会議の様子を実況放送します。**

放送の日程は、左記の6月定例会の予定のとおりです。

一般質問の再放送は、翌日午後6時から、再々放送は、およそ10日後の午後3時から行います。

**委員会の様子を録画放映します。**

2時間程度にまとめた番組を放映します。放映の日程は、市議会ホームページでお知らせします。

★CCS …… デジタル 111Ch  
★Kビジョン …… デジタル 123Ch  
★メディアリンク …… デジタル 122Ch

### 金井光男議員逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします



金井光男議員（62）が、平成29年4月1日に逝去されました。金井議員は、平成11年5月に旧徳山市議会議員に初当選されて以来、5期18年にわたり、市議会議員として、予算決算委員会委員長、監査委員、副議長等を歴任されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。